

平成30年7月13日

山梨中銀経営コンサルティング株式会社

## 「やまなし新事業応援ファンド」による投資案件を紹介します ～エクセルギー・パワー・システムズ株式会社への出資について～

「やまなし新事業応援ファンド」（正式名称：やまなし新事業応援投資事業有限責任組合。以下「当ファンド」といいます。無限責任組合員：山梨中銀経営コンサルティング株式会社）は、エクセルギー・パワー・システムズ株式会社（以下「同社」といいます。東京都文京区、代表取締役 兜森俊樹）に対する投資を行いましたので、お知らせいたします。

なお、本投資は当ファンドの第8号案件となります。

### 1. 投資内容

(1) 投資日 平成30年7月13日

(2) 投資額 30百万円

(3) 投資形態 第三者割当増資の引受

※ 事業内容や技術力、市場性の調査、及び面談による経営者の資質判断などから、成長可能性を総合的に判断し、投資を決定いたしました。

### 2. 会社の概要

(1) 企業名 エクセルギー・パワー・システムズ株式会社

(2) 設立年月 平成23年5月

(3) 所在地 東京都文京区本郷七丁目3番1号

(4) 代表者 兜森 俊樹

(5) 業種 エネルギー変換等の利用技術等の事業化

- 同社は蓄電池の研究開発製造を行う、東京大学発のベンチャー企業です。
- 独自技術である水素電池（蓄電池）は、世界的に拡大が見込まれている、再生可能エネルギー（以下「再エネ」といいます。）の普及における課題解決（再エネの課題である出力変動を調整する）が可能であり、瞬間的な出力変動の調整において他の調整方式と比較して優位性が認められています。また、世界各国で稼働中の再エネ発電施設において、商用利用を視野に入れた実証実験を進めています。
- 急速充放電が可能かつ劣化の少ない同社の蓄電池の特長を活かした、次世代電力インフラ事業（港湾クレーンのハイブリッド化、電車の回生エネルギーを活用した電気バス等）においても、実用化に向け、大手事業会社と連携して取り組んでいます。
- 同社の開発した蓄電池は、現状、実証実験の段階ではありますが、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）や環境省の補助事業にも採択されるなど、その技術的評価は高く、環境問題が注目を集める中、今後様々な分野での活用が期待されています。
- 同社の本社所在地は東京ですが、山梨県内に製造拠点を設置し、山梨県が米倉山に所有する太陽光発電施設で実証実験を行っています。現在は増産への設備投資を進めており、今後の事業発展が期待されることに加え、雇用の創出等を含め、県内企業との取引拡大など、県内経済の発展に寄与すると考えられることなどから、同社への投資を決定いたしました。
- 同社の第三者割当増資を引き受けることで資金面での支援を行うとともに、今後は、

同社の成長発展に向けて「支援チーム（※）」との連携により積極的に各種支援を行ってまいります。

※支援チーム：県内中小企業の経営革新支援を目的に、山梨県が設置した「中小企業サポート連携拠点会議」内に組成された創業・起業段階の支援に重点的に取り組むチーム

### 3. 当ファンドの内容

当ファンドは、山梨県、甲府・富士吉田両商工会議所と富士急行株式会社、株式会社山梨中央銀行及び山梨中銀経営コンサルティング株式会社の県内民間企業3社の出資により設立された官民共同の投資ファンドです。

山梨県内に本社または事業所を有する企業を中心に、スタートアップ期やアーリーステージにある中小企業等に対する投資や育成を行うことにより、成長分野における創業や、成長分野への企業の参入を促進し、新産業の創出や雇用・県内総生産額の増加等による山梨県経済の活性化を図ることを主な目的としています。

当ファンドの管理・運営を行う無限責任組合員は、山梨中銀経営コンサルティング株式会社が務めています。

- (1) 設立日 平成26年8月26日
- (2) 出資総額 3億1千9百万円
- (3) 投資金額 1回あたりの投資額は概ね5百万円から3千万円（1社あたりの累積投資額の上限は出資総額の10%）
- (4) 投資対象 「山梨県産業振興ビジョン」に掲げる5つの産業分野、11の産業領域を重点対象分野とし、主にスタートアップ期やアーリーステージにある山梨県内に本社または事業所を置く企業を中心といたします。

以 上

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

山梨中銀経営コンサルティング株式会社 コンサルティング部（担当 山崎・野中）  
電話 055-224-1032